

≪ 姫路東高校の一押し本100選 ≫ 一部紹介します！！

著者名	書名	内容・推薦者コメント
遠藤 周作	海と毒薬	病院内での権力闘争と戦争を口実に行われた生体解剖に加わった人々の苦悩を描く。罪とは何か、迷い、議論していくことに価値があると思う。
小川 糸	食堂かたつむり	失恋と同時に声を失った倫子が、ふるさとに帰って食堂を始める。心のかもった料理を通じた人々との関わりに感動した。
小川 洋子	博士の愛した数式	八十分しか記憶が持たない数学博士と、家政婦である「私」、その息子の物語。心がぼかぼかしてくる。作中の数学用語を調べるのもおもしろい。
長田 弘	死者の贈り物	「親しかったものの記憶にささげる」詩。折に触れて読み返しては、温かい気持ちになる。
乙一	失はれる物語	現実と少しずれた世界に迷い込んだ人々を描く。著者は、あらゆるジャンルで活躍する奇才。ラストがあまりに切ない。
小野 不由美	月の影 影の海	平凡な高校生の陽子は、謎の男に異界へと連れ去られる。人間の本音や本質が的確に表されており、「生」への執着心に心が揺さぶられる。
恩田 陸	夜のピクニック	高校最後のイベントに、貴子は密かな誓いを抱いてのぞむ。青春時代を思い出す。
香川 宜子	アヴェ・マリアのヴァイオリン	戦火をくぐり、数奇な運命に翻弄されたヴァイオリンの物語。史実をもとに書かれた物語で、いろいろと考えさせられ、涙が出た。
川上 未映子	わたくし率イン歯一、または世界	自分は脳ではなく奥歯で考えているのだ、と決めた「私」。青木を思い、まだ見ぬ我が子に日記を綴る。天才的な感性で書かれている。
川村 元気	仕事。	仕事で世界を面白くした人に聞いた仕事術。人生を楽しくする仕事の教えが詰まった一冊。